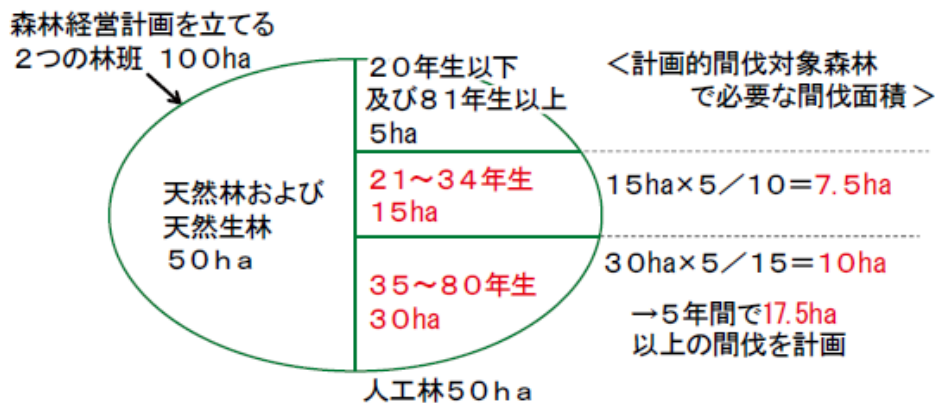


部	ページ	位置	修正前(～第2刷)	修正後(第3刷)
1	5	2-4行目	そこで、平成21年12月に発表された「森林・林業再生プラン(以下、「再生プラン」という。)」では、「プランナー」による提案型施業の推進とされ、提案型施業を強く推し進めていく姿勢が示されました。	そこで、平成21年12月に発表された「森林・林業再生プラン(以下、「再生プラン」という。)」では、プランナーによる提案型施業を強く推し進めていく姿勢が示されました。
1	5	20行目	平成22年11月に「最終とりまとめ」が発表されました。	平成22年11月に、各委員会から「最終とりまとめ」が発表されました。
1	5	下から7-10行目	再生プランのキャッチフレーズは、「コンクリート社会から木の社会」という社会変革を目的としたものになっており、平成22年6月に閣議決定された「新成長戦略」のなかでも、「21世紀日本の復活に向けた21国家戦略プロジェクト」の一つに位置付けられています。	再生プランは、「コンクリート社会から木の社会」という社会変革を目的としたキャッチフレーズを持ち、平成22年6月に閣議決定された「新成長戦略」のなかでも、「21世紀日本の復活に向けた21国家戦略プロジェクト」の一つに位置付けられています。
1	8	6-10行目	この中で、プランナーは、地域森林の全体設計やコーディネートにも貢献しながら、現場での施業を設計・提案・実行するという役割を果たすことになるので、地域森林管理において要となる役割を担っているということができると良いでしょう。	この中で、プランナーは、地域森林の全体設計やコーディネートにも貢献しながら、現場での施業を設計・提案・実行するという役割を果たすことになるので、地域森林管理において要として位置付けられているということができると良いでしょう。
3	65	下から11行目	$60\text{m}^3 \div 5\text{人工}$	$60\text{m}^3 \div 5\text{人日}$
3	73	9行目	$4000 \times 1.5 \div 5 = 1200\text{万円}$	$4000\text{万円} \times 1.5 \div 5\text{年} = 1200\text{万円/年}$
3	73	下から5行目	$3,200\text{万円} \div 4,000 = 8,000\text{円/m}^3$	$3,200\text{万円} \div 4,000\text{m}^3 = 8,000\text{円/m}^3$
4	98	下から9-10行目	表土に近いところから順に～	上から順に～
4	102	9-10行目	これは雪圧か、過去に表土が少しだけ下方向へ動いたかのどちらかです。	これは雪圧か、過去に表土が少しだけ下方向へ動いたかのどちらかの可能性が高いです。
4	117	下から10-12行目	上の写真がまさにそうです。腐ってから機械や車が乗るとどうなるか、考えれば誰でもわかるはずなのに、ここまでくるともうクレイジーとしか言いようがありません。	上の写真のような使い方では、腐ってから機械や車が通ると路体もろとも谷底へ落下する危険性があります。
5	130	下から5-7行目	ここでは、一定期間内に間伐した実績のある森林や、計画的間伐対象森林から外れる人工林がないものとして、極めて簡略化しています	ここでは、一定期間内に間伐した実績のある森林がないものとして、極めて簡略化しています
5	131	図表3		(※下記掲載のとおり修正)
5	142	下から7-8行目	続いて、収支面として、木材の販売収入と補助金を合計すると、5,400万円になりました。	続いて、以下の条件で、収支を計算しました。
5	143	1行目	以上、図表14にまとめた通り、最終的な収支は405,000円となり、利益率としては1%を割っていますが、一応黒字となりました。	その結果、図表14にまとめた通り、最終的な利益は405,000円となり、利益率としては1%を割っていますが、一応黒字となりました。
5	143	図表14	収益 405,000円 木材販売収入 38,000,000円	利益 405,000円 木材売上 38,000,000円
5	143	図表15	事業収益 101 機械経費 3,176(591)	利益 101 機械経費 3,176(726)
5	144	3-4行目	燃料費は、機械経費のうち591円/m ³	燃料費は、機械経費のうち726円/m ³
5	144	5-6行目	費用も収益も、ともに合計額は16,500円/m ³ です。	(削除)
5	144	8行目	年間にかかった65,595,000円(図表14)を、変動費と固定費に分解すると、変動費は23,005,000円、固定費は42,590,000円となります。	さらに、年間にかかった65,595,000円(図表14)を、変動費と固定費に分解すると、変動費は23,545,000円、固定費42,050,000円となります。
5	144	図表16	(費用および売上高の数値)6,538、4,259	6,537、4,205

部	ページ	位置	修正前(～第2刷)	修正後(第3刷)
5	144	下から 16-18行目	～売上が 6,538万円 であり、これを素材生産量に換算すると、 3,963m³ となります。 損益分岐の素材生産量= $6,538万円 \div 16,500円/m^3 = 3,963m^3$	～売上が 65,370,392円 であり、これを素材生産量に換算すると、 3,962m³ となります。 損益分岐の素材生産量= $65,370,392円 \div 16,500円/m^3 = 3,962m^3$
5	144	下から 13-14行目	～、これに機械損料も加えた固定費は、 全体の65% となります。	～、これに機械損料も加えた固定費は、 全体の64% となります。
5	146	図表18	③生産性の向上。昨年の平均 5.7m³/人日 を 6.0m³/人日 に上げれば、 200m³ の増加。収入は 170万円 の増(販売収入6,500円/m ³ として)。 前年度の生産性からの上昇分×年間作業日数×販売収入 = $(6.0m^3/人日 - 5.7m^3/人日) \times 700日 \times 6,500円/m^3 = 130万円$	③生産性の向上。昨年の平均 5.71m³/人日 を 6.0m³/人日 に上げれば、 200m³ の増加。収入は 130万円 の増(販売収入6,500円/m ³ として)。 前年度の生産性からの上昇分×年間作業日数×販売収入 = $(6.0m^3/人日 - 5.71m^3/人日) \times 700日 \times 6,500円/m^3 \approx 130万円$
5	147	図表20	(プロセッサの日当たり燃料費) 9,300円 (プロセッサの年間燃料費) 1,395,000円 (プロセッサの1林産班当たり経費) 2,947,333円 (合計) 10,169,967円	10,800円 1,620,000円 3,097,333円 10,319,966円
5	148	5行目	$3,017,000 \times 100 / 150日 = 2,011,333円$	$3,017,000円 \times 100日 / 150日 = 2,011,333円$
5	148	10-11行目	一方、機械経費について、稼働日数の増加とそれに伴う修理費の増大、 現場間の回送の増加 などを計画して積算しましたが、 実際に計画の通りに進むかどうかは1年間の取組みいかんにかかっています。	一方、機械経費の見直しについては、稼働日数の増加とそれに伴う修理費の増大などを想定して積算しましたが、 実際にその通りになるかどうかは1年間の取組みいかんにかかっています。
5	148	図表21	(造材機械経費) 2,947,333円	3,097,333円
5	148	図表22	(造材機械経費) 2,947,333円 (造材工程経費) 5,947,333円 (造材工程単価) 1,487円	3,097,333円 6,097,333円 1,524円
5	149	図表23	(単位上から)m ³ /円、本/円、m ³ /円、m ³ /円	円/m ³ 、円/本、円/m ³ 、円/m ³
5	150	図表24	(グラップルの燃料費) 20万円 (グラップルの小計) 300万円	21万円 301万円
6	158	7行目	第7部 では、コミュニケーション力を～	第6部 では、コミュニケーション力を～

※P131 修正後の図表3

図表3 必要な間伐面積の計算例 (イメージ)



<この例における条件>

- ・標準伐期齢を35年とする。
- ・市町村森林整備計画に定める平均的な間伐の間隔年数を、標準伐期齢未満の場合は10年、標準伐期齢以上の場合は15年とする。
- ・5齢級未満(20年生以下)、17齢級以上(81年生以上)を計画的間伐対象森林から除外する。
- ・施業履歴はない。

※このほか、0.3ha未満の森林を対象外とするなどの規定があるため、実際の運用には注意が必要。